

リサイクルだけでは、ごみもCO₂も減りません。

大量生産・大量消費の社会と決別し、CO₂排出量を削減することは今日的課題です。しかも、世界レベルで、急速にクローズアップされつつある“ピークオイル”に対処してゆくためにも、より一層の脱枯渇性資源の取組みを進め、持続可能な社会に転換しなければなりません。

いまこそ、税負担による容器包装のリサイクルを卒業し、発生抑制(リデュース)や再使用(リユース)を促進するための制度の構築が求められています。

ぜひ、私たち市民がイニシアチブを取って、新しい制度をつくる運動に取り組みましょう。

第一部 基調講演

演題 『容器包装リサイクル法の現状と課題』

講師 植田和弘氏(京都大学大学院経済学研究科教授)

第二部 3R全国ネットワークからのキックオフ提案

第三部 参加者・団体からのメッセージ

～開会冒頭(もしくは途中)、国会議員の方々のメッセージもお願いしています。～



- ・日時：10月7日(木)
- ・時間：1:30～4:00
- ・場所：星陵会館(東京都千代田区)
- ・主催：容器包装の3Rを進める全国ネットワーク
- ・資料代：1000円(一般)
500円(賛同申込をされた方)
下記にお申し込みください。

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-7-3 半蔵門ウッドフィールド2F 市民立法機構気付

TEL 03-3234-3844 FAX 03-3263-9463 Eメール reuse@citizens-i.org URL <http://www.citizens-i.org/gomi0/>